

行政視察等報告書

令和6年10月4日

境港市議会
議長 永井 章 様

会派名 自由未来
代表者 荒井 秀行

下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和6年10月1日（火）
2 視 察 等 先 及 び 内 容	視察先：島根県浜田市（中国電力株式会社 三隅発電所） 目 的：地域のエネルギー政策の調査研究を目的として、国内最大級の石炭火力発電所であり、世界最高水準の環境保全設備を備えたクリーンコール・テクノロジーで運営する最新鋭の発電所である三隅発電所の安全管理を中心に、現地見学を活用しての視察を行う。
3 視察等議員	荒井秀行、加藤文治、松本品彦、伊藤康弘、吉井 巧
4 総 経 費	合計6,851円（1人当たり1,370円） 【内訳】ガソリン代 4,001円、高速道路料金 2,750円、 駐車場料金 100円 ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

視察先対応者：

【中国電力株式会社 三隅発電所】

地域共生部長 渡部 賢

内 容：三隅発電所見学

令和 6 年 10 月 1 日（火）

8：30	市役所集合出発
13：00	三隅発電所到着
13：30	発電所概要説明
14：00	発電所施設見学
16：00	視察終了、三隅発電所出発
19：30	市役所着・解散

所 感：

（吉井 巧）

地域のエネルギー政策の調査研究を目的として、島根県浜田市にある国内最大級の火力発電所であり、世界最高水準の環境保全設備を備えたクリーンコール・テクノロジーで運営する最新鋭の発電所ある三隅発電所の安全管理を中心に、施設見学と視察に行ってきました。

高効率な発電方式の「超々臨界圧（USC）」を採用した他、石炭と木質バイオマスを混焼することで年間 50 万トン程度の二酸化炭素を削減できる 2 号機を稼働することにより、中国地区内の老朽化した火力発電所 2 カ所を廃止し、さらに二酸化炭素の排出量削減を行うなどカーボンニュートラルに向けた姿勢、エネルギーミックスの観点からも、天候などにより不安定な太陽光発電の発電量カバーするために、調整発電ができる火力発電の必要性について学びました。

燃焼後に出る石炭灰の有効利用として、海域や汽水域の環境改善を目的とした覆砂材として活用できる HI ビーズの製造を行うなど、大気汚染防止対策や水質汚濁防止対策だけではなく、地域環境保全に対しても徹底して推進している姿勢に感銘を受けました。

（以上）